ヨシナカ新聞

９月号
発行所
㈱北陸ヨシナカ
大阪本社工場
TEL:072-977-8861
FAX:072-976-0634

ステンレス豆

流し台はキレイにしておきましょう

日本では１９６０年頃からステンレスの流し台、調理台、ガス台の３点セットが普及し始め、今では非常に高い普及率となっています。材質は多くの製品でＳＵＳ３０４です。

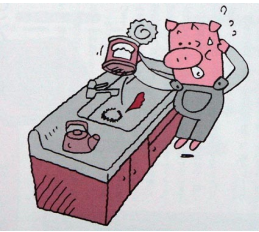
流し台でステンレスが主に使われているのは上層の水槽（シンク）と水切り台で、どちらも水に濡れる機会が多く、シンクには塩分のある汁などを流すので錆びないか心配ですが、汁の塩分はそれほど高くないし、水をよく流すので、きれいにしておく限り大丈夫のようです。

しかし、マッチの燃えかす等を入れるのにステンレスキッチンのシンクの上に缶詰の空き缶を置いていると空き缶の底が錆びて、ステンレスに丸く錆びが付きます。これを『もらい錆び』といいます。

この段階なら、清掃材で錆びを除去すれば問題ありませんが、もらいさびをいつまでもそのままにしていると、ステンレスの健全な不動態皮膜の保持に必要な空気（酸素）の補給が悪くなるために、不動態被膜が破壊されステンレス自体が錆びてしまいます。多少素地が食われるので、錆を除去してもあとが残ります。空き缶の他にもヘアピンや鉄の剃刀の刃も同じ結果になります。

いずれにしても、流し台や浴槽に限らず、ステンレス製品をさびや腐食から守るには、中性洗剤などを使ってきれいにしておくことがポイントです。

（参考資料『トコトンやさしい錆の本』日刊工業新聞社）



『おはぎ』と『ぼたもち』

まだまだ残暑は厳しいですが、高校野球が終わる頃から日が暮れるのが早く感じるようになって来ました。９月に入り朝晩が涼しい日もあり秋は間違いなく近づいているようです。

さて、９月23日は秋分の日です。秋分の日と言えば『おはぎ』を食べますが、春分の日は『ぼたもち』を食べます。この『おはぎ』と『ぼたもち』の違いは何でしょうか。

会社でもこの話に花が咲きました。

「粒あんとこしあんの違いやんか」

と言う人もいれば、

「いや違う。『ぼたん』は大阪弁で、もともとは同じ物やで」

と自信を持って言い切る人もいたりして、なかなか楽しい会話になりました。

真実はと言えば、『おはぎ』は萩から、『ぼたもち』はぼたんの花から、どちらも季節の花から取っていて、どちらも全く同じ食べ物なのだそうです。これで一件落着！　ですよね。

ソフトボール大会！

９月３日（日）に当社が入っている企業団地内の企業対抗ソフトボール大会がありました。

この大会も既に１５年以上続いており、弊社も何度か優勝することがありましたが、ここ数年はその地位を他社に譲っています。

写真は、入社二年目の前田君。試合ではセカンドを守ってくれました。

野球経験者でもある彼の守備は堅実でバッターがスイングする瞬間に自然に体が反応して動く姿にはつい見とれてしまいました。格好いい！。

また彼の後ろのライトをを守っていた同じく入社二年目の宮本君もダイビングキャッチをして大会からファインプレイ賞を貰うなど活躍してくれました。

残念ながら試合には負けてしまいましたが、来年が楽しみになって来ました。他の皆さんもお疲れ様でした！。

K社員のピアノ奮戦記

第八話　とりあえず『猫踏んじゃった』奏法で

レッスンを終えて帰宅するなり、先程の〜線（アルペジオ）をもう一度練習します。すると何度か繰り返した程度でそこそこのスピードで弾けるようになりました。これには自分でもびっくり。そして、『俺はピアノの天才か。もしかして小さな頃からピアノをやっていたら超有名ピアニストになっていたかもしれない』　なんて自惚れる始末。

翌日の夕方ちょっと規模の大きな本屋さんで一冊の本に目がいきました。タイトルは、

『おとなのピアノ　独学のすすめ　（春秋社）』

サブタイトルに、

「ぼくはこうして〈英雄ポロネーズ〉をマスターした」

ってあります。

そして、本のカバーには

「楽譜が読めなくてもほんとうに弾けるようになるの？！」

独学のピアニスト　ゼロからのアプローチ　究極の練習法」って美味しそうなことが書いてあります。

すぐ購入し一生懸命読みました。

内容は楽譜を読めない著者が高校生の時に友人が弾いた「エリーゼのために」に感動し、友人に頼んで押さえる鍵盤を全て教えて貰って練習したら、そこそこ弾けるようになった。というところから始まります。

そこで著者は、ピアノを始めるのなら楽譜が読めるようにならなければいけないと殆どの人が言うことに疑問を感じます。そして自分がマスターした「エリーゼのために」の弾き方は楽譜がなくても多くの人がスラスラと弾く「ネコふんじゃった」と同じ方法だという結論に至ります。

要するに押さえる鍵盤を全部覚えてしまう丸暗記奏法ということです。

そして、その方法で『英雄ポロネーズ』に挑戦し、悪戦苦闘の末になんとか弾けるようになります。

この本を読んでなんだか気が楽になりました。次のレッスン時にＳ先生にその本の話をして、楽譜を見ながら弾くのはとても辛いので慣れるまでネコふんじゃった奏法で練習したいと御願いしようと決心したのです。